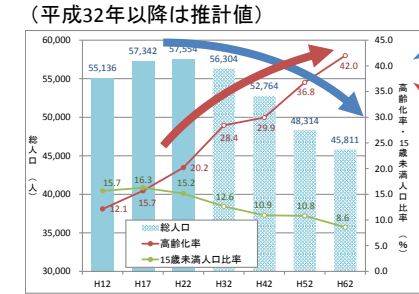


1 まちづくりの現状と課題

●年齢別人口の推移



総人口
H22～H62
で割減

高齢化率
H22～H62
で2倍

課題

- 高度化・多様化する市民ニーズへの対応
- 超少子高齢・人口減少社会に対応する都市基盤の再構築
- 暮らしたいと思える魅力的なまちづくり

四條畷市が将来に向けて持続可能な魅力的なまちであり続けるためには、長期を見据えた公共施設の再配置・再整備が急務

施設更新の方向性	財源確保の取組
<ul style="list-style-type: none"> • 長寿命化 • 多機能化 • 複合化 	<ul style="list-style-type: none"> • 公民連携 • 受益者負担の適正化 • 余剰不動産の活用

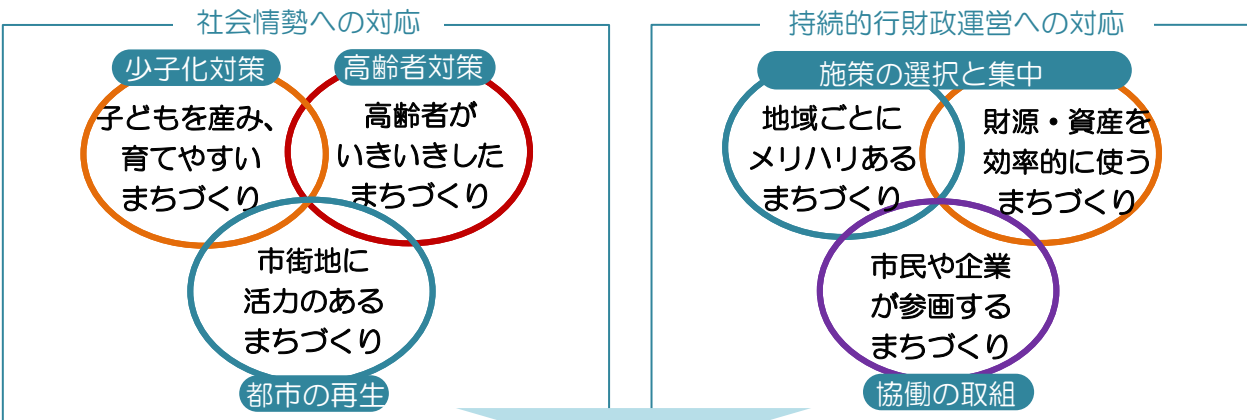
高度経済成長期に建設した公共施設・インフラの老朽化

公共施設・インフラの更新・維持管理コストの増大

少子化に起因する人口減少に伴う税収の低下

高齢化進展による社会保障費の増加

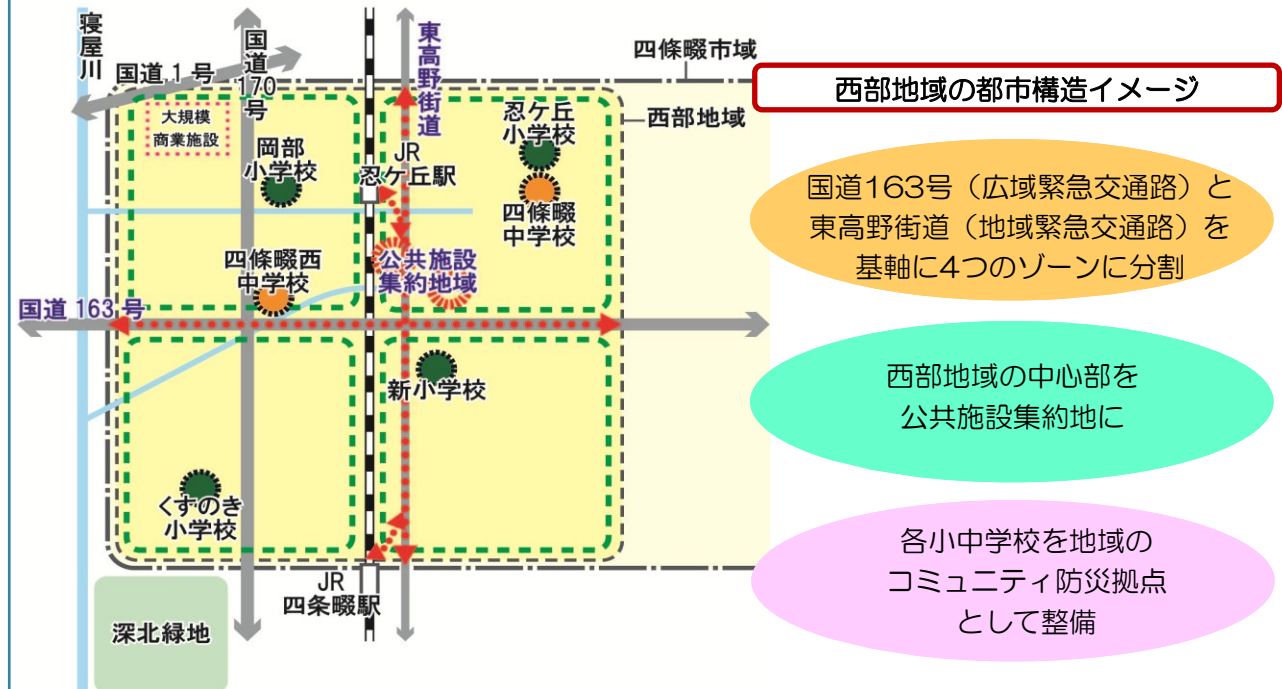
2 変化と課題に対応したまちづくり



【まちづくりのコンセプト】	【公共施設配置の考え方】
<ul style="list-style-type: none"> 安心、安全、快適で住み良さを追求するまち 超少子高齢社会を見据えた利便性に富んだまち 学び、文化、スポーツを通じコミュニティを生み育むまち 	<p>地域を結ぶ国道163号と東高野街道を基軸とする動線に配慮した施設の配置へ</p>

3 まちづくり長期計画の検討内容 I

2050年を到達点とするまちづくりの計画を（前頁のイメージ）を策定します。計画は、地域別の土地利用の方向性と、その実現に向けた都市機能配置の方針を定めます。



西部地域の都市構造イメージ

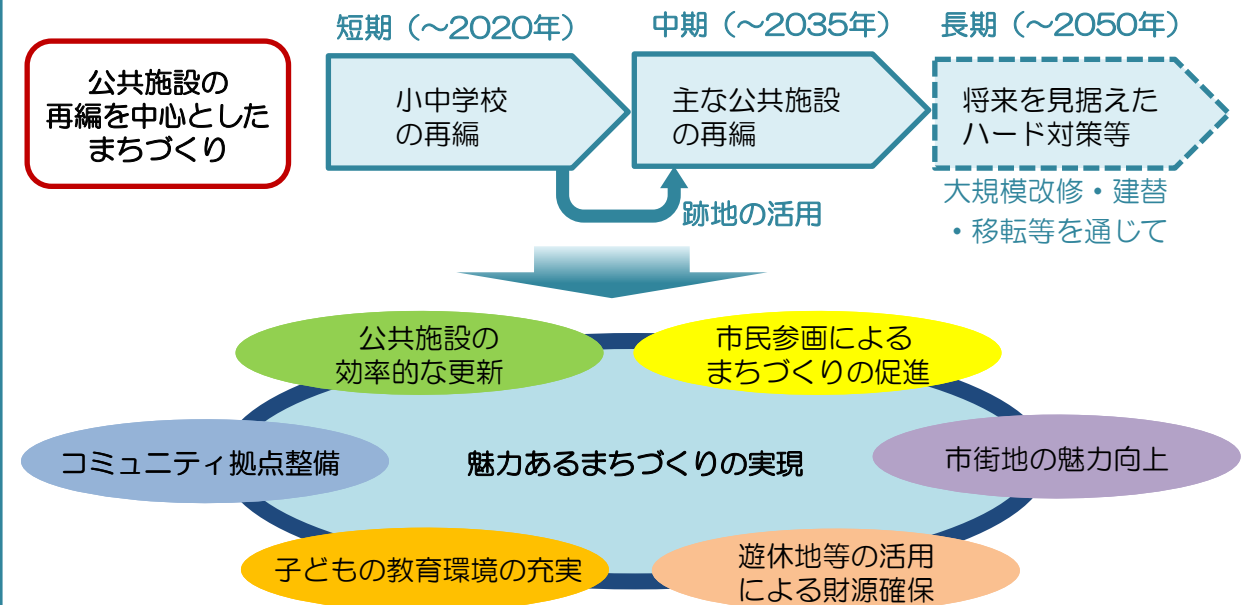
国道163号（広域緊急交通路）と東高野街道（地域緊急交通路）を基軸に4つのゾーンに分割

西部地域の中心部を公共施設集約地に

各小中学校を地域のコミュニティ防災拠点として整備

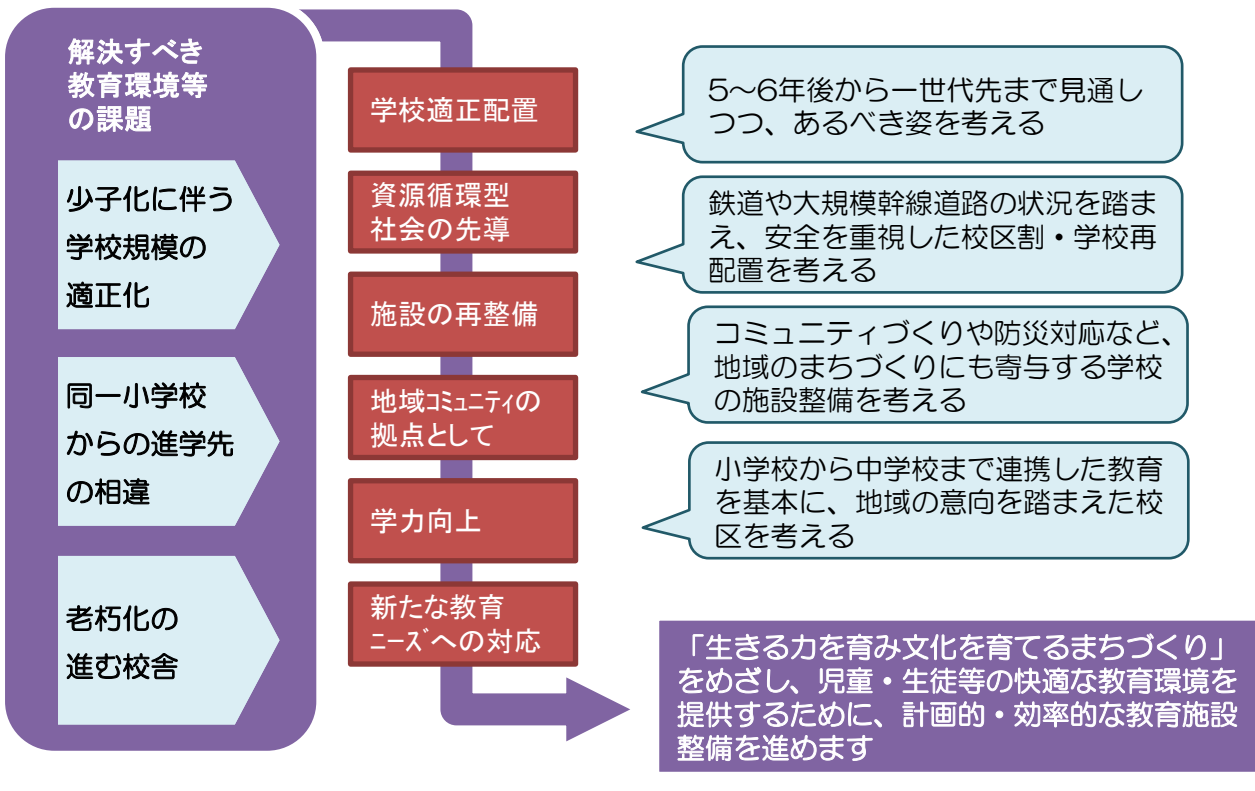
4 まちづくり長期計画の検討内容 II

これからのまちづくりを進めるにあたり、まず小中学校の再編を行い、それにより生じた跡地を利用した公共施設全体の再編方針を取りまとめます。この再編を通じて、限られた財源で市民にとって魅力あるまちづくりを進めます。



▼ 裏面では、短期（～2020年）のまちづくりとして、小中学校の再編等の説明となっております。

5 学校の適正配置、校区設定の基本的な考え方



7 教育施設別検討方針（西部地域）

全校共通	防災拠点としての整備、ICT環境の充実、屋上緑化・太陽光発電設備、教室の空調設置
岡部小学校 (H26年度改修中)	<ul style="list-style-type: none"> 校舎の外壁、内装の改修、防水などの老朽化対策工事 トイレの洋式化、LED照明機器の導入 門・フェンス等の防犯対策
四條畷中学校 (H28年度末までに改修予定)	<ul style="list-style-type: none"> 技術棟撤去及び地盤沈下対策 忍小・新小との連携を進めるための児童生徒・教職員の共有スペース
四條畷西中学校 (H28年度末までに改修予定)	<ul style="list-style-type: none"> 国道163・170号による騒音・粉じん対策のための環境に配慮した校舎配置 体育館の老朽化対策 市民も利用可能で、分散型エネルギーを活用した屋内温水プールの整備
四條畷南中学校 (H28年度末開校予定)	<ul style="list-style-type: none"> 新小学校の整備用地
忍ヶ丘小学校 (H30年度末までに改修予定)	<ul style="list-style-type: none"> 校舎・体育館・プールの老朽化対策 畷中との連携を進めるための児童生徒・教職員の共有スペース
くすのき小学校 (H31年度末までに改修予定)	<ul style="list-style-type: none"> プールの老朽化対策 カフェの併設など地域の活動拠点ともなる地域に開かれた学校図書室
新小学校 (H32年度開校予定)	<ul style="list-style-type: none"> 防災拠点としての整備 最新の学習環境、児童の自主活動、畷中との連携が充実する施設整備 全ての児童に優しい設計（バリアフリー、ユニバーサルデザイン） 地域との協働スペース、地域コミュニティの拠点となる整備

6 新たな校区割に関する具体案（西部地域）



8 小中学校の再編を活かしたまちづくり展開（イメージ）

跡地の活用イメージ

- 他の公共施設への改修転用
- 他の公共施設の建て替え用地
- 民間との複合施設整備
- 民間における利活用(売却を含む)による財源化 (学校など公共施設の更新・改修費用に充当)

跡地の活用イメージ（公共施設の複合化）※茅ヶ崎市複合施設イメージ図より

- 多機能化
- 公民連携
- 複合化
- 余剰不動産の活用

四條畷小学校	市民総合センター敷地とともに、市役所、福祉及び教育関連機能の複合施設用地として検討
四條畷東小学校	民間活力の導入を含め、新たな機能用地として検討
四條畷南小学校	地域の活動拠点として検討
市民活動センター	市民総合センター敷地とともに四條畷小学校跡地を用地として検討する市役所、福祉及び教育関連機能の複合施設内に集約
教育文化センター	市民総合センター敷地とともに四條畷小学校跡地を用地として検討する市役所、福祉及び教育関連機能の複合施設内に新設
教育センター（仮称）	市民総合センター敷地とともに四條畷小学校跡地を用地として検討する市役所、福祉及び教育関連機能の複合施設内に新設 不登校児童・生徒への支援、発達相談等の対応、研修室・会議室、教職員の自己研修コーナー等